

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度第2回所沢市スポーツ推進審議会
開 催 日 時	平成30年7月31日(火) 午前10時から午前11時40分
開 催 場 所	市役所6階 604会議室
出 席 者 の 氏 名	・作野誠一 ・新井喜代子 ・宮寺敏雄 ・古山和見 ・吉田和生 ・瀬野恵美子 ・綱木 一 ・鈴木和男 ・江黒直樹 ・小林 琴 ・福井美智子 ・井上忍
欠 席 者 の 氏 名	
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	(1) 協議事項 ・第2次所沢市スポーツ推進計画(素案)について (2) 報告事項 ・平成30年度スポーツ振興課所管事業について
会 議 資 料	平成30年度第2回所沢市スポーツ推進審議会 次第 資料1 第2次所沢市スポーツ推進計画(素案) 資料2 平成30年度主な事業予定
担 当 部 課 名	教育委員会 教 育 長 内藤 隆行 教育総務部 部 長 美甘 寿規 次 長 師岡 林 スポーツ振興課 課 長 海老沢康子 主 幹 斎藤 洋一 副 主 幹 三上 佳明 指 導 主 事 久保田勇士 主 査 吉川奈緒美 主 任 鹿島 弘美 主 事 関 咲穂 教育総務部 スポーツ振興課 電話 04(2998)9248

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>午前 10 時、スポーツ振興課鹿島主任により開会された。</p> <p>本日の出席委員は、12 名全員であるため、会議は成立する。</p> <p>「所沢市の会議の公開に関する指針」に基づき公開ということでお知らせしているため、了承願いたい。傍聴者に対しては、公開部分の会議資料を配布する。</p> <p>なお、会議の報告方法については、第 1 回審議会にて承認いただいたことから要約方式で、発言者は単に“委員”と記載すること。会議記録の確定については、スポーツ推進審議会会長に諮り確定することとしたい。</p> <p>会議の議長は、条例第 5 条の規定により、会長が議長となる。議長に会議の進行をお願いする。</p>
会長	<p>新井会長あいさつ</p> <p>会議録について「記録方式」「発言者記録方式」「会議録の確定」の 3 点についてどうか。</p>
委員	<p>発言者の名前を書かず、「委員」とだけ記載する理由を伺いたい。</p>
事務局	<p>会議録が公開されるため、委員の方々より忌憚ない意見や自由闊達な意見をいただきたいという思いからである。</p>
会長	<p>傍聴者の確認をお願いする。（傍聴者なし）資料の確認をお願いする。</p>
事務局	<p>（本日の資料について説明した。）</p>
会長	<p>今の説明について質問はあるか。</p> <p>（質疑なし）</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>議事</p> <p>（１）協議事項</p> <p>・第2次所沢市スポーツ推進計画（素案）について （資料1「第1章～第3章」について、事務局より説明した）</p>
事務局	
会長	今の説明について質問や意見等はあるか。
委員	<p>障害者スポーツについて、テレビで観戦したことがある人は35%、大会を観戦したことがある人は2.9%、関係者としては大会や障害者スポーツをもっと知ってもらわなくてはならないと感じている。市民体育館で行う際は、情報を流し、この数値を上げていきたい。</p>
会長	<p>先日、知人がゴールボールの大会を観戦した際、物音を立ててはいけないということで、声を出さずにどう応援するか悩んだという話を聞いた。</p>
委員	<p>一般スポーツとは違い、応援の仕方に制限があることは確かである。ゴール後には盛り上がるができるが、ボールが行き来している際はボールの音が聞こえなくなるので静かにしなくてはならない。応援の仕方に関して、市民の方から、別室に映像を通して観戦できる場所を作ったらどうか、観戦の仕方の講習会を開催したらどうか、という意見をいただいた。協会を通して進めていくことを検討している。</p> <p>体育館に入ったら静かにしなくてはならないということではなく、声を出してはいけないところがあるというだけで、応援していいところはしている。そういうところを皆さんに伝えていきたい。</p>
会長	<p>ゴールボールを皆さんで体験しながら盛り上げていきたいと思うのでよろしくをお願いしたい。</p> <p>他に質問や意見等はあるか。</p>
委員	<p>小・中学校の校庭や体育館を利用できることを知らなかった。学校体育施設開放事業についてはどのように情報を発信されているのか伺いたい。また、学校開放はグループに属していないと使えないのか、個人で気軽にできるものなのか伺いたい。</p>
事務局	<p>ホームページ等を通じて周知している。予め、各地区にある学校開放運営委員会に登録申請し、各利用団体と時間や場所の調整をして利用する方式となっている。問い合わせ先がスポーツ振興課となっており、問い合わせをいただいた際に各地区の委員長を紹介している。</p> <p>小学校のグラウンドでは前面的な広さを必要とする野球・ソフトボール・少年サッカー等が行われており、体育館でもその場所でなくては活動することができないバレーボールやバドミントン等が行われている。</p> <p>個人が申し込んで使うより、スペースを必要とする団体が集まり、調整することでグラウンドを満遍なく利用できている。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	申し込みをした団体以外でも学校の校庭を利用できる日を作って欲しい。
委員	基本的に学校の校庭は公園ではないので、自由に開放してしまうと、遊具での事故や鍵の管理やトイレの問題等、多くの問題があるのではないだろうか。
委員	<p>各地区に登録していない人が学校施設を利用したい場合、直接、学校長に話して借りるという流れになっており、フリーで貸すということは学校開放とは別の話になる。学校としては、管理者がいないと貸出の許可をしないと思うので、子ども会等で借りるのであれば、借りることもできるのではないかと。</p> <p>学校開放事業として、個人に自由に貸し出すことは怪我等の問題もあり、認めることはできない。</p>
会長	<p>第1章～第3章については以上でよろしいか。</p> <p>続いて第4章～第6章について事務局説明をお願いします。</p>
事務局	(第4章～第6章について、事務局より説明した。)
会長	今の説明について質問や意見等はあるか。
委員	<p>今回、計画策定にあたり行ったアンケート調査の対象が18歳以上の男女になっているが、今後、年齢を下に延ばしていくことがありうるのか伺いたい。平成30年3月にスポーツ庁が発表した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」の中に、生徒の多様なニーズを把握し、応える工夫や取組の必要性について記載されている。</p> <p>今後、部活動が制限されていく中、地域と連携し、生涯スポーツとしていかなければならないという場面が出てきた際、子どもたちの多様性やニーズをどこで捉えていくのか。基本理念が「誰もが」ということであるならば、今後所沢市を担っていく子ども達の声聞くことが大切なのではないか。</p>
事務局	<p>本計画においては、ライフステージに応じた取組を推進していくことから、児童生徒の意向を確認していく必要があると改めて感じた。</p> <p>今回のアンケートでは、調査対象を18歳以上に限定していたが、子ども達のニーズや意見を取り入れること、また、その調査方法について検討していきたい。</p> <p>計画期間の5年間で、適宜、その内容についても見直していく。</p>
委員	<p>学校を通じて子どもにアンケート調査を実施するとなると、学校に通うことができない子どもたちのニーズが捉えられず、「誰もが」に反するのではないかと。幼児から大人まで、全年齢を対象にし、学校通さずとも、一般家庭を通して調査することができるのではないかと。</p>
事務局	今の意見も踏まえ、検討する。

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
-----	-------------------

委 員	<p>総合型地域スポーツクラブについて、元々、各中学校区に一つ作ろうということで始まったことを鑑みると、地域のクラブと部活動で手を組んでいくという方向が示されている中で、現状維持ではなく、新しいクラブをつくるという方向を文言として入れていただくとありがたいと思う。</p>
事 務 局	<p>総合型地域スポーツクラブについては、自治体ごとに様々な取り組みを行っている。所沢市は、広く市内を捉えれば、一つの地域に WASEDAClub2000 という大きなクラブがある。今後の総合型地域スポーツクラブの在り方については、検討課題として捉え、標記するのも1つの方法である。計画期間5年間でどのように変動するかはわからないが、こうしたことを視野にいれ、事業を進めて展開していくことが必要であると考えている。</p>
委 員	<p>「スポーツをささえる」の『ささえる』が印象に残った。 いつでもどこでもいつまでもという基本理念には、誰かが支える必要があり、学校体育に課せられた重責とともに地域の中で生きるためには、環境整備という部分で、大人や地域の方の力が必要となる。</p>
会 長	<p>事務局でも力を入れて取り組んでいただきたい。</p>
委 員	<p>環境整備に関連して、近年問題となっている熱中症対策についても項目も入れるべきではないのか。</p>
事 務 局	<p>運動する側にもある程度は熱中症に対する意識が必要になってくる。今、気温だけでなく湿度や日射・輻射などの周辺熱環境を取り入れた「暑さ指数（WBGT）計測器」というものがあり、『31℃』を超えたら運動は中止すべきなどの指針も出ている。啓発の意味も含めて文言に入れることを検討したい。 教育委員会では学校や体育施設・公民館で様々な事業を行っているため、状況に応じ、熱中症対応の配慮が必要となっている。</p>
委 員	<p>スポーツ少年団には事務局より熱中症に関する注意喚起があった。低学年の練習を控えたり、小学校での除草作業を中止したりしたが、他の団体には通知していないのか。</p>
事 務 局	<p>熱中症の対応については、スポーツ少年団、体育協会、レクリエーション協会に通知している。</p>
委 員	<p>知人から、自分の健康のために体操はしたいが、発表会があるから体操教室には参加したくないという話を聞いた。発表会は行わないといけないものなのか。</p>
事 務 局	<p>とこしゃんまつりでは、各地区でとこしゃん体操を中心とした健康体操を行っている人たちが一堂に会し、健康体操教室に興味がある人たちに広めるという目的で開催している。主催教室の参加者にとこしゃんまつりへの参加を強制することはない。こうした事業を通じて、仲間を見つけ、活動の場を広げる効果を期待して開催しているものである。 また、各地区の公民館などにおいて、サークルとして健康体操などを行っている</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
会長	<p>団体があるが、そのような団体では、毎年、発表の場を設けているため、発表会を目的とした活動をしている場合もあるのではないかと。</p>
委員長	<p>第4章～第6章については以上でよろしいか。 今日の会議のこと等で感じたことはあるか。</p>
事務局	<p>熱中症対策の件について、防災行政無線を活用した注意喚起はできるのか。 また、運動場等で熱中症注意時に赤色の旗を立てるなど、常に見える形での注意喚起のやり方も検討していただきたい。</p>
委員長	<p>災害情報を防災行政無線で流している。猛暑ということもあり、高温になっているという注意を促すようになってきていることから、外でスポーツをしている際に、無線を聞き、活動を取りやめるということにもつながっていると思う。</p>
委員長	<p>色々な行事・施設があることを今回初めて知った。 たくさんの事業があるのに情報が届いていないことが残念である。 年齢によっても情報の入手の仕方が違うため、ターゲットに合わせた情報発信が必要なのではないかと。</p>
委員長	<p>子どもたちには所沢市の郷土を愛し、健康で安全にこの地で過ごして欲しいと願っている。熱中症対策についても行政に任せるだけでなく、各学校でミストシャワーを設置するなど、自分達で出来ることは自分達でしていくことが子ども達にとっても大切である。</p>
事務局	<p>素案と比べて、図表や写真が増え、施策の構成が国の考え方や今の状況などを参酌しており、非常に良くなったと感じる。 計画は時間がはつきり読み手にわかるように伝えることが大切なので、来年以降確実に変わる元号ベースではなく、国の計画等でも取り入れられているように西暦併記にしたほうがいいのではないかと。</p>
委員長	<p>庁内で、他の計画も含めて表記方法について統一する予定である。</p>
事務局	<p>5年の計画期間中、見直しをしていくとのことだが、見直しはどのような時点でどういうことをやるのか。</p>
委員長	<p>計画に基づいて施策を実行していく中で、事業をチェックし、改善できる点は、事業に反映していく。例えば、子どもを対象にアンケートを行った場合はそのアンケートを事業にどう反映させるのかという対応も必要となる。 計画の中身や国の政策が大きく変わった場合などは、計画の改訂版を出すことも配慮しなければならない。</p>
会長	<p>第4章～第6章については以上でよろしいか。 報告事項について事務局説明をお願いします。</p>

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局 会長	<p>(2) 報告事項</p> <p>・平成30年度スポーツ振興課所管事業について (資料2について、事務局より説明した。)</p> <p>今の説明について質問や意見等はあるか。 (質問・意見等はなし)</p> <p>議事については、以上である。 進行を事務局に戻す。</p> <p>次回会議は、2月上旬の開催を予定している。</p> <p>副会長によるあいさつにより、閉会した。</p>

以上のとおり、会議録を確定しました。